

てんり市議会だより

今回の定例会

まほろば



※題字については、第68回天理市展において議会議長賞を受賞された尾田伸子さんにお書きいただきました。

2026年9月1日号 No.117 6月定例会の内容をお伝えします。

CONTENTS

6月定例会の概要	2
こんなことを質問しました	4
こんなことが決まりました	9
議会のうごき	10.11

令和8年7月20日に第28回福住氷まつりが開催されました。2月に氷室に入れられた3トンの氷のうち、昨年に比べ55kg少ない、370kgの氷が残っていました。

同日に福住村七日市が開催され、多くの人で賑わっていました。



令和8年6月定例会

こんなことを話しました

開会日（6月8日）
市長提案

●会期の決定

会期を6月24日までの17日間と決定しました。

●表彰状・記念品の伝達

全国市議会議長会

・15年以上の在籍議員

市本 貴志 議員

●監査報告

監査委員より5件の監査報告がありました。

●報告

報告2件が上程され、原案どおり了承しました。

●提案説明

今議会に提出された5議案について、市長より提案説明が行われました。



再開日（6月11日）
委員会付託

●委員会付託

上程された5議案を各常任委員会に付託し、審査することとしました。

くらし産業委員会

・天理市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

1議案を付託

総務財政委員会

・一般会計補正予算 ほか

計4議案を付託

※委員会審査の概要については、3Pに掲載しています。



再開日（6月18・19日）
一般質問

●一般質問

・今西 康世 議員

・寺井 正則 議員

・藤本 さゆり 議員

・鈴木 洋 議員

・井上 伸吾 議員

・神田 和彦 議員

・石津 雅恵 議員

・村木 敬 議員

（質問順）

※一般質問の要旨については、4～8Pに掲載しています。

最終日（6月23日）
採決

●人事案件

公平委員会の委員の選任及び農業委員会の委員の任命の同意案が上程され、それぞれ原案どおり同意しました。

●委員長報告

所管委員会に付託されていた5議案について、各委員長より、審査の経過並びに結果の報告がありました。

●討論

1議案について、村木議員より反対討論がありました。

●採決

5議案について、いずれも原案どおり可決しました。

●追加議案

提出された追加議案について、市長より提案説明があり、うち1件について村木議員から反対討論がありました。採決の結果、全て原案どおり可決しました。

●決議案

意見書2件について、提案者の説明の後、原案どおり可決しました。

※議決結果については、9Pに掲載しています。

くらし産業委員会

6月15日

付託議案の審査概要

消防団員等公務災害補償 条例の一部改正について

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、非常勤消防団員等が公務等により死亡した場合における葬祭補償額の引き上げに対応するため、所要の改正をしようとするもの。

その他の質問事項

Q 既存木造住宅耐震診断支援事業や、木造住宅耐震改修支援事業の利用状況は。

A 耐震診断支援事業は、今年度に募集上限数の8件を実施予定。耐震改修支援事業は、今年度から補助上限を115万円に増額し、現時点で募集件数2件のうち申請が1件あり引き続き募集を行う。



総務財政委員会

6月16日

付託議案の審査概要

令和8年度一般会計補正 予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8085万円を追加。

- 歳出の主な内容
 - ・企業版ふるさと納税マッチング支援業務委託料
 - ・コミュニティ助成事業による自治会活動備品整備及び自治会集会所の新築工事に對する補助
 - ・歴史的資源を活かした交流促進事業に對する補助
 - ・児童館施設整備事業に要する費用
 - 歳入の主な内容
 - ・国庫支出金
 - ・寄附金
 - ・繰入金

監査委員に関する条例及び 下水道事業の設置等に関する 条例の一部改正について

地方自治法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、地方自治法の条項に移動が生じることから、当該条項を引用する各条例についても、所要の改正をしようとするもの。

山の辺小学校及び柳本小学校 校舎解体工事請負契約に ついて

解体工事を施工するため一般競争入札に付した結果、落札業者と請負契約を締結するにあたり、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めようとするもの。



詳細は、

天理市の
ホームページ

天理市議会

会議録の検索と閲覧

よりご覧ください。



市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。
その主な内容をお伝えします。(4～8P)

こんなことを質問しました

※すべての質問が動画で視聴及び会議録で閲覧できます。[天理市のホームページ](#) ▶ [天理市議会](#) ▶ [議会中継（動画）](#)・[会議録の検索と閲覧](#)

一般質問

今西 康世 議員

- ・防災重点ため池 平尾池について
- ・天理市立公民館分館について
- ・地域に残る歴史、文化資産の保存と継承について

寺井 正則 議員

- ・高齢者肺炎球菌結合型ワクチンの独自助成実施について
- ・新型コロナウイルス感染症への対策について
- ・献血教育の推進について

藤本 さゆり 議員

- ・天理市公設フリースクール「ほっとスクール」について
- ・夏休みの子育て支援
- ・こどもの安心・安全な体を動かす場所の提供について
- ・てんりの自然保護対策について

- ・重点支援地方交付金の使い方について

- ・若い女性に選ばれる地域づくりについて

鈴木 洋 議員

- ・働き方改革と人材育成について
- ・行政運営の質的転換に向けて
- ・A-活用・導入について

井上 伸吾 議員

- ・本市の森林環境について

神田 和彦 議員

- ・天理ブランド認定事業について

- ・部活動外部指導員への諸謝金の支払い状況及び指導者研修について

- ・小・中学校の屋外グラウンド照明器具設置について

石津 雅恵 議員

- ・ゴミの減量・リサイクルの取組について

村木 敬 議員

- ・中小企業・個人事業主に対する金融支援策等について
- ・生活保護世帯や低所得者世帯に対するエアコンの設置について

- ・自衛隊に対する名簿提供及び予備自衛官等兼業特例法案等について

- ・成年後見制度について
- ・ごみの収集について
- ・学校図書館について



※一般質問の要旨については、発言した議員が編集しています。



今西 康世 議員



一問一答

防災重点ため池 平尾池について

Q 平尾池の防災対策について、地域住民の生命、財産だけでなく、長岳寺の重要な文化財を守る観点から、どのように安全確保を図るのか。

A 平尾池は、決壊した場合周辺への被害が大きく、人命や財産への影響が高いため池と分類されたため、豪雨耐性評価の調査等を優先的に実施する。市民には、ため池ハザードマップを配布しており、継続的に確認するよう広報紙で呼びかけている。(市長)

天理市立公民館分館について(43の分館)

Q 43ある公民館分館の建築年数や老朽化の現状は。

A 大半の施設は築50年が経過。維持管理の相談を年間3件ほど受けている。(市長)

Q 耐震診断、安全性の確認や修繕、改修の支援は。

A 公民館分館規則に基づき自治会が維持管理を行うが、認可地縁団体制度の活用や、学校三部制での対応も一つの案と考える。(市長)

地域に残る歴史文化資産の保存と継承について

Q 歴史的文化的価値を持つ資料や文書等に対し、専門家等による価値判断や調査を行う考えは。また、保存と継承への教育委員会の取組みは。

A 令和7年度から県と協働で古文書所在確認調査を実施。歴史的資料の保存と継承を地域全体で取組めるよう、重要性の発信に努める。(教育長)

要望 何を残し何を処分するかは、その時代の価値観を映す鏡である。未来の子どもたちに何を引き継ぐのかという視点を持つての判断を願う。





一問一答

高齢者肺炎球菌結合型ワクチンの独自助成について

Q※ PCV20ワクチン導入と制度設計に関する考え方は。

A 持続効果が高いPCV20が薬事承認され、定期予防接種B類のワクチン液に指定された。費用対効果の観点から対象年齢を65歳とし、国は65歳を超える方への経過措置は設けない方針。市としても、厚労省が定める対象者、ワクチン液、期間を遵守する必要があると考える。(市長)

Q 定期接種の機会を逃した方や※2 PPSV23ワクチンを接種し効果低下が懸念される方にPCV20ワクチンの助成事業を実施する考えは。

A 国は最新のワクチン導入の検討を始め、接種機会を逃した方への対応を再考する方針を示している。動向を見据え、来年度に向け制度設計を前向きに考えていく。(市長)

※1 PCV20 ワクチン：20 種類の肺炎球菌を予防する結合型ワクチン。一度の接種で長期間の予防効果が期待できる。令和8年から定期接種に採用。

※2 PPSV23 ワクチン：23 種類の肺炎球菌を予防するワクチン。約5年で効果が低下するため再接種が必要とされる。なお、平成26年10月から令和6年3月末まで、過去に定期接種の機会を逃した70歳以上の高齢者も接種対象とする経過措置が設けられた。

新型コロナウイルス感染症への対策について

Q コロナの現状について広く周知することや、ワクチン接種費用の公費助成の考えは。

A 地域包括支援センターや医師会と連携して、重症化リスクの高い高齢者に、感染症対策やワクチン接種を啓発している。接種費用の助成については、近隣の状況も踏まえ、継続的に検討していく。(市長)

Q 若い世代の献血が減少し、国は献血教育を推進している。本市の学校現場での状況は。

A 厚生労働省や県赤十字センターの広報資料が届いた場合は配布し、ポスターは校内に掲示している。重要性を踏まえ、小中学校での出前講座の実施を検討する。(教育長)



一問一答

天理市公認フリースクール、ほっとスクール、

Q こども一人ひとりに寄り添う多様な支援体制の状況は。

A 児童生徒が安心して心の回復ができる居場所として、ほっとスクールを設置している。今後開設されるアトリエ e. f. t. と連携し、こどもが自分らしい生き方や学び方を見つけられる新しい子育ての形づくりに取り組む。(教育長)

夏休み中の子育て支援

Q 夏休み中の昼食の提供は。

A 学童保育所にて希望制の弁当注文を実施。加えて、地域による弁当の無償提供等の子育て支援が展開されている。情報提供や相談支援を行い、地域と連携を深める。(市長)

Q こどもの安心・安全な体を動かす場所の提供について

A 本市の現在の状況は。

A 各公園の特性を生かした整備を行っているが、利用者

の安全や、災害時の避難場所及び救援・復旧活動の拠点としての機能を確保する必要がある、整備にあたっての課題として認識している。(市長)

要望 市役所が市民の憩いの場となるよう整備を希望する。

天理の自然保護対策について

Q 現在の熊対策について。

A 地域での講習会の開催や猟友会との連携等、複合的に対応しているが、中山間の農業を持続可能にいくことも重要な要素と考える。(市長)

若い女性に選ばれる地域づくりにについて

Q 男女共同参画の取組と天理の未来について。

A 誰もが幸せを実感できる天理市を目指し、各種相談支援体制や男女共同参画の啓発を継続・発展していく。(市長)





鈴木 洋 議員



一問一答

働き方改革と人材育成

Q 働き方改革のテーマ別到達状況と人材育成の取組みは。

A 時間外勤務は月平均66時間で県内市町村平均の7割弱。年次有給休暇の取得は12・3日、管理職に占める女性の割合は4割前後、男性職員の育児休業取得率は一〇〇%となっている。人事評価の処遇への反映にも取組み、各般の派遣研修にも39種類、125名が参加。社会課題の多様化とともに業務量が増大しており、職員減少の環境下、対面で必要な部署に優秀な人材を回すことが重要。（市長）

Q スマート自治体の取組みの中、育成しているDX推進リーダーの取組みと方向性は。

A RPAでは目に見える成果があり、対象業務では8割の時間削減、3700時間の合理化を実現。RPAシナリ

※1 RPA：「Robotic Process Automation」の略語で、パソコンで行っている事務作業を自動化できるソフトウェアロボット技術のこと。

才の作成など、職員のスキル向上に努めている。（市長）

生成AI活用の方針について

Q AIの進化が想像以上に早く、AIエージェントの実装が行政においてもマストとなっている。AIの進化に対応し、リスク管理を厳格にするため、AI統括責任者を置いてガバナンスを高め、DX推進リーダーをチームとして機能させ、部局毎の課題に組織的に取組み、伴走型の推進体制構築を進めてはどうか。

A 生成AIの活用は、特定の部局だけでなく全庁的に底上げをするべく、個々のスキルアップとともに、全体を統括し、部署横断的に進めていくリーダーシップも必要。外部人材から提案を得ることも検討する。（市長）



※2 AIエージェント：人間の指示に基づいて自律的に判断し、複数のタスクを連続して実行できるAIシステムのこと。



井上 伸吾 議員



一問一答

本市の森林環境について

Q 森林環境譲与税を活用し、森林組合と共に施業放置林等の間伐など森林メンテナンスを実施されているが、間伐材を教材とし林業・製材業の歴史、文化、産業、また木工技術について学び、木材を使うことで森林や木について興味を持つようになることを目指す「木育」を、市内小中学校に導入してはどうか。

A 市域の東半分は山間地で、森林の安全や防災、熊も含めた鳥獣害対策を考えると、森林環境譲与税の使途としては森林組合などと一緒に行っている放置林整備事業などが中核だと考えている。併せて市民全体の森に対する環境意識をしっかりと高めていき、特に木育を通じた、森林と触れ合う中で子どもたちの人格形成は非常に重要だと考えている。森林から若干距離があ

る地域である盆地部もあるもので、そちらにお住まいの市民や子どもたちにとっても森が身近に感じられるような取組を検討していきたい。（市長）

※ 施業放置林：本来計画的に間伐・更新を行う前提で造成されたが、木材価格低迷や林業従事者の減少等で採算が取れず、手入れが中断・放棄された人工林。



Q 「巨木を語ろう全国フォーラム2026」が本市で開催されることとなった経緯と大会の概要について。

A 開催期日は10月17日、18日の2日間、天理市文化センターを会場として予定。本市がSDGs未来都市やオーガニックビレッジの取組を進めていく中で、全国巨樹・巨木の会の関係者と交流する機会があり、ぜひ天理市での開催をという話に至った。全国からたくさんの方が来ていただくことにより、巨樹を通じた交流人口の増加につなげていきたい。（市長）



神田 和彦 議員



一問一答

天理ブランド認定事業について

Q 応募者への講評やフィードバックを行っているか。

A 各委員から申請產品に対する所感や採点のポイントなどを発表。審査結果通知のコメント欄に、意見やアドバイスを記載している。(市長)

Q 認定部会の委員構成について、金融の専門の方に入っていることは考えているか。

A 市内の商工会との連携が非常に重要であり、一緒に創業スクールを行っている。新規事業者が認定を目指していくというような機運づくりを重視していきたい。(市長)

Q 令和8年度の予算額、4500万円余りの積算根拠は。

A 講師謝礼等の報償費384万7千円。講師に支払う



交通費283万2千円。スポーツ安全保険料134万5千円。審判資格や大会登録費、講習会受講料等の地域クラブ活動負担金148万円等となっている。休日分の活動支援として国・県から995万2千円の補助金を受けており、平日分の補助金についても、現在申請を行っている。(市長)

Q 今後の外部指導員への研修についての本市の考えは。

A 天理大学と連携し、コーチング研修会を年間4回実施する。最低限受講いただきたい内容については、外部指導員全員の受講を目指す。(市長)

Q 保護者の費用負担についての本市の考えは。

A 地域展開をきっかけに新たに負担を求めることは、現在を考えていない。(市長)



石津 雅恵 議員



一問一答

ごみの減量、リサイクルの取り組みについて

Q 本市のごみ排出量の現状は。

A 可燃ごみは10年前に比べ全体で20%、一人一日当たりでは12%削減。(市長)

Q 本市が山辺・県北西部広域環境組合に支払うごみの処理費用はその量に依りて決定されるが、ごみの減量化を進めた方が市の負担が減るのであれば、今以上の対策が必要と考えるが、現在の対策は。

A 雑紙袋を全戸配布。草木は堆肥処理やバイオマス発電燃料として売却処理。一般廃棄物収集運搬許可業者に^{※1}展開検査を実施。ごみを自ら搬入される全ての方にごみの分別指導を行っている。(市長)

Q ごみの減量策として有料化を行っている近隣市町村があるが、天理市の考えは？

A 現時点では、ごみ有料化



は考えていない。(市長)

Q 可燃ごみの更なる減量や分別を周知徹底することが大切と考えるが、市の対策は。

A 新たに改訂した「家庭ごみ分別の手引き」、「ごみ分別パンフレット」、「ごみカレンダー」の全戸配布や地元説明会を開催しており、「町から町へ」で啓発を続ける。また食用油を各学校で回収し^{※2} SAF^{※2}に変える取り組みも進め、市民の意識を高めていく。(市長)

Q 現在の取組みに加え、ごみの分別を促進するアプリを導入しては。

A アプリは有効な手段と考える。多言語対応により外国籍の方への対応にも有効であり、メリット・デメリットを勘案し正式な導入に向けて検討したい。(市長)

※1 展開検査：収集車で運ばれたごみをすべて地面に広げ、手作業で不適物が入っていないかを確認する検査。

※2 SAF：持続可能な航空燃料のこと。廃食油、微細藻類、木くず、サトウキビ、古紙などを主な燃料として製造される。



一括質問

名簿提供は若者を戦場へ向かわせる！

Q 自衛隊への若者の名簿提供は裁判も行われ、埼玉県では26年度には中止の見通しである。若者が戦場に赴くことになるので、個人情報情報を慎重に取扱うべき。助言に基づくと要請で義務ではない。市長の判断で中止できるのでは。

A 自衛隊への入隊は、最後は個人の判断が尊重される。安全保障政策として若者を戦場に向かわせることにならないかは、国全体として、平和国家としての在り方をしっかりと議論いただくべき。(市長)

権利擁護には家庭裁判所の組織の充実を！

Q 成年後見制度の法改正が予定されている。権利擁護には、家庭裁判所の組織の充実が必要で、職権による手続き開始の申立てを行う立場にある市長に、権利擁護に向けた

制度改善へ尽力を賜りたい。

A 家庭裁判所の権限・体制強化は必要。弁護士・司法書士と地域連携ネットワークの機能強化に努め、制度の適正な運用を国に求める。(市長)

Q 巧妙な偽情報に騙されない情報リテラシーの育成は、学校図書館が機能することが必要で、基礎的・本質的・主体的な学びを作り出す。このためには、正規職員として学校司書の配置が必要では。

A 地域の人材の活動や司書資格取得へのサポートなど継続した人材育成支援を行うとともに、育成した人材を会計年度任用職員として中学校区単位で配置する等、子ども達にとって豊かな読書活動の整備を進めていきたい。(教育長)



一般質問ってなあに？

一般質問とは、議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などを質問し、報告や説明を市長などに求め、市が市民のための適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

天理市議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができます。

質問方法は、実りのある議論とするため、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。また、3回に制限された質問で1回あたり複数の項目の回答を求めることができる一括質問方式と、一問ずつ何回でも回答を求めることができる一問一答方式を採用しており、質問時間は、両方式ともに答弁時間を含め60分以内で行います。

議会への意見をお寄せください。

市内12カ所の公民館(東部・祝徳・丹波市・前栽・井戸堂・二階堂・朝和・櫛本・柳本・式上・福住・山田)に「議会意見箱」を設置しています。議会活動に役立てるため、皆さんの声を聞かせてください。



こんなことが決まりました

※詳細はホームページをご覧ください。

[天理市のホームページ](#)

▶ [天理市議会](#)

▶ [議案・議決結果](#)

▶ [審議結果一覧](#)



全員賛成で決定した議案

報告

- ・報告第3号 令和7年度天理市繰越明許費繰越計算書
- ・報告第4号 令和7年度天理市下水道事業会計予算繰越計算書

同意案

- ・同意案第4号 天理市公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
- ・同意案第5号 天理市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

議案

- ・議案第30号 天理市監査委員に関する条例及び天理市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
- ・議案第31号 天理市立山の辺小学校校舎1棟解体工事請負契約について
- ・議案第32号 天理市立柳本小学校校舎6・12・19・20棟解体工事請負契約について
- ・議案第33号 天理市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- ・議案第34号 令和8年度天理市一般会計補正予算（第3号）（追加議案）
- ・議案第36号 建物明渡等請求事件に係る訴訟の和解について（追加議案）

決議案

- ・決議案第1号 すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的な枠組みの整備を求める意見書について
- ・決議案第2号 ドナーミルクの利用拡大を求める意見書について

意見が分かれた議案

議案

- ・議案第29号 令和8年度天理市一般会計補正予算（第2号）
- ・議案第35号 天理市印鑑条例の一部改正について（追加議案）

会派	清風会										令和の会			無会派			結果
	鈴木 洋	鳥山 淳一	東田 匡弘	榎堀 秀樹	大橋 基之	西崎 圭介	内田 智之	石津 雅恵	井上 伸吾	市本 貴志	山田 哲生	藤本 さゆり	今西 康世	寺井 正則	神田 和彦	村木 敬	
議案第29号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議案第35号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

賛成…○ 反対…× ※議長は表決に加わりません。

※反対討論の内容については、ホームページから会議録をご覧ください。

[天理市のホームページ](#)

▶ [天理市議会](#)

▶ [会議録の検索と閲覧](#)



議会を傍聴しませんか

本会議、各常任委員会及び議会運営委員会が傍聴できます。

市政への知識を深めることや議会の活動、市の方針などを知ることができますので、傍聴を希望される方は、本会議や委員会当日、本庁舎6階事務局までお越しください。

また、団体での傍聴を希望される方は座席の都合上、事前に事務局へお問い合わせください。

なお、本会議のライブ中継及び録画中継は天理市のホームページからご覧いただけますのでご利用ください。

● お問い合わせ 議会事務局 ☎63-1001 内線603

議会のうごき ～議会の様々な活動について報告します～

議会改革の新たな一歩！

～タブレット端末を導入しました～

天理市議会では、議会活動のさらなる効率化と活性化を目指し、タブレット端末を導入しました。

これにより、大量の会議資料をデータ化し、大幅なペーパーレス化と印刷・郵送コストの削減を実現します。あわせて、最新情報の迅速な共有や、過去資料のスマートな検索が可能となり、審議の質をより一層高めます。

今後もデジタル技術を積極的に活用し、経費削減とスムーズな議会運営を両立させながら、市民の皆様にご信頼される「開かれた議会」を目指していきます。



新たな学びの拠点！

e.f.t. カレッジオブアーツの起工式が行われました

6月19日、天理市御経野町で「e.f.t. カレッジオブアーツ」の起工式が盛大に執り行われ、天理市議会議員が参加しました。この「e.f.t. カレッジオブアーツ」は、旧御経野児童館の利活用を通じた「こどもの新たな居場所づくり」のプロジェクトであり、起工式では、工事の安全と事業の成功が祈願されました。

天理市の豊かな教育の選択肢を提供し、地域全体の活性化に貢献されることを市議会一同期待し、本事業が天理市のさらなる発展に繋がるよう、今後もその進捗を注視してまいります。



地域活性化へ新たな交流拠点！ CEUEU（セウエウ）櫛本駅がオープンしました

7月4日、JR 櫛本駅で「^{セウエウ}CEUEU 櫛本駅」オープニングセレモニーが盛大に開催され、天理市議会議員が出席しました。このセレモニーは、地域に新たな賑わいと交流を生み出す施設「^{セウエウ}CEUEU 櫛本駅」の開設を祝うものです。

市議会は、この^{セウエウ}CEUEU 櫛本駅が地域に深く根ざし、多くの皆様に愛され、櫛本地域、また天理市全体の活性化に貢献されることを大いに期待し、今後の活動を支援してまいります。



他の議会からの行政視察（令和8年7月）

天理市議会では、当市の先進的な取組を参考とされるほかの自治体議会に対し、行政視察の受入れ対応を積極的に行っています。本年7月には、下記のとおり他の自治体議会が本市を訪れました。

○タブレットの運用について 奈良県田原本町議会

○ほっとステーションおよび学校三部制について

佐賀県唐津市議会、長野県下諏訪町議会、愛知県武豊町議会

○ほっとステーションについて 兵庫県宝塚市議会、兵庫県西宮市議会

○学校三部制について 広島県議会



奈良県田原本町議会



長野県下諏訪町議会



愛知県武豊町議会

議場見学によろこそ！

市内の小中学生が議場を見学しました。児童たち、生徒たちは、議会について説明を受けた後、議場を楽しく見学していました。

5月 8日 櫛本小学校 3年生 39名

5月 19日 朝和小学校 6年生 61名

6月 22日 丹波市小学校 3年生 39名



櫛本小学校



朝和小学校

令和8年第3回天理市議会定例会 本会議・委員会日程

- 9月 1日（火）
9時30分 議会運営委員会
11時00分 本会議開会
- 9月 3日（木）
9時30分 議会運営委員会
11時00分 本会議再開
- 9月 4日（金）9時30分 文教厚生委員会
- 9月 7日（月）9時30分 くらし産業委員会
- 9月 8日（火）9時30分 総務財政委員会
- 9月 9日（水）9時30分 決算特別委員会
- 9月10日（木）9時30分 決算特別委員会
- 9月14日（月）
9時00分 議会運営委員会
10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 9月15日（火）
10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 9月17日（木）
9時30分 議会運営委員会
11時00分 本会議再開

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		本会議 11:00		本会議 11:00	文教 9:30	
6	7	8	9	10	11	12
	くらし 9:30	総務 9:30	決算 9:30	決算 9:30		
13	14	15	16	17	18	19
	本会議 10:00	本会議 10:00		本会議 11:00	(会期)	
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

※会 期＝9月18日（金）までの18日間

議会中継をご覧いただけます

本会議のライブ中継及び録画中継を、
パソコンやスマートフォンからご覧いただけます。

天理市ホームページから

[天理市議会](#) ▶ [議会中継](#) にお進みいただく
か、右の二次元コードからご覧ください。



議会広報編集委員会

委員長 西 崎 圭 介

副委員長 山 田 哲 生

委 員 東 田 匡 弘

委 員 鈴 木 洋

委 員 寺 井 正 則

委 員 井 上 伸 吾